

126 ツリスガラ

(スズメ目)

兵庫県ランク: B

Remiz consobrinus

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

中国北東部、内モンゴルなどで繁殖し、繁殖後は中国から朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、本州以南で越冬する。河口や河川敷、湖沼などのヨシ原に生息し、ヨシの茎を割って昆虫類やクモ類などを食べる。10羽前後から数十羽の群れでいることが多い。

国内分布

本州北部、本州中部、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、草垣群島、トカラ列島、奄美大島、沖縄島



写真提供：福本誠

(性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、伊丹市、豊岡市、加古川市、赤穂市、★高砂市、小野市、朝来市、たつの市、稲美町、播磨町



写真提供：北野光良

(性別：メス)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

CランクからBランクへ変更。

県内では主に11-翌5月に生息するが、古い記録はない。1982年11月に赤穂市西浜の塩田跡で記録されたのが最初で、1983年2月には同所で69羽が記録されている。その後、各地で渡来が確認され、個体数も増えたが、1980年代の記録は全て瀬戸内側で、日本海側での記録は1991年11月豊岡市が最初である。最近では、個体数、分布域ともに急減しているため、Bランクへ変更した。

保護上の留意点

本種の生息は、ヨシ原に依存しているので、冬期のヨシ原の保全が重要。特にヨシ刈りはその生息に重大な影響を与えるため、本種が生息しているヨシ原では慎重に対応することが必要。